

六篠会報

No.12

発行／神戸市灘区六甲台町1 神戸大学農学部内 六篠会 (神戸大学農学部同窓会) 連絡用FAX:078-881-2752



C · O · N · T · E · N · T · S

「六篠会会長に選ばれて」新家 龍……………2	平成9年度六篠会代議員総会開催報告……………5
「神戸大学農学部はいま」加藤 征史郎……………3	平成9年度六篠会役員・代議員名簿……………5
「初めての国際学会」川東 正幸……………3	六篠会会則……………6
「森に包まれた研究所で」万年 英之……………4	平成8年度決算報告書・平成9年度予算案……………7
神戸大学学友会と神大クラブについて……………4	編集後記……………7
平成8年度庶務報告……………5	六篠会会則……………8



新会長挨拶

六篠会会長に選ばれて

神戸大学農学部 新家 龍

六篠会の皆さんには、益々ご健勝にて、各職場や各分野でそれぞれ活躍のこととお喜び申し上げます。平素は何かと六篠会の発展のためにご協力頂いておりますことを感謝しております。厚く御礼申し上げます。

来通り、最高議決機関である総会で決定することになっております。

この新しい会則に則って、平成9年5月31日第一回目の代議員総会が、神戸大学農学部大会議室において新旧役員及び代議員の出席（委任状を含む）のもとに開催されました。その席上、これまで長年に亘って六篠会の発展のために努めてこられた西川欣一会長が勇退されることになりました。西川会長のこれまでのご尽力とご功績に対して出席者全員から大きな拍手がおくられ、感謝の意を表しました。また、旧副会長をはじめ旧役員の方々にも、ここで改めて、これまでのご尽力に対して皆さんと共に感謝の意を表したいと思っております。有り難う御座いました。

第1回代議員総会と新役員について

ご存知のように、昨年10月26日に開かれまして六篠会臨時総会において、従来の六篠会会則を改正して、代議員制を導入した新しい会則が承認され施行されることになりました。この新しい会則の特徴は、各卒業年次または学科、各支部及び鶴陵会からそれぞれ代議員を選んで会長が委嘱し、一方、正会員の中から選出された役員と共に代議員総会を新しく構成していることにあります。その代議員総会では、会長の決定をはじめ六篠会活動の重要な事項を審議する事になっております。詳細は、本会報に掲載されている庶務報告及び新しい六篠会会則を一通りご覧になると幸甚です。勿論、会則の改廃など、総会の議決が必要であると認められる事項については、従

とっております。会員各位の一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

六篠会活動について

今後の六篠会活動については、これまで西川前会長を中心に実施してこられた活動を基本的に続けていくことになると思っています。同時に、県六篠会、K O B E六篠会、神戸大学農学部等から選出されている新しい役員の方々と共に、新しい提案やアイデアを取り入れて活動内容をさらに充実していきたいと考えております。

六篠会の入会金と財政的基盤

ご存知のように、六篠会は新入生の入会金（終身会費3万円）を基盤として運営されております。このところ、約95%の入会者を維持しておりますが、中には卒業しても入会金を払わない人がいることも事実です。時には、「同窓会員になることの特典は？」、「同窓会個人への還元は？」などと思いがけない質問が返ってきてびっくりすることもあります。しかし、実際は、入会時に六篠会名簿、21世紀

への探求（農学部概要、農学部絵がきセットなどを配付し、卒業時には証書用簡（六篠会名入り）の配布と卒業記念パーティへの多額の援助を



実施している現状です。従って、卒業後の会員の方々には、名簿や会報の配布を除けば、また六篠会総会や特別記念パーティなどへのご出席が無ければ、直接的な六篠会活動との繋がりには、むしろ少ないという印象があるかも知れません。今後は、支部活動をさらに活発化して、この問題の解決に当たって行きたいと考えております。

E六篠会、延喜会など、支部活動（地域支部、職域支部、職場支部など）が活発に行われて来ましたが、今後は、さらに、関東支部、九州支部など新しい支部を結成したり、各種グループ活動を支部として確立出来るように、財政的援助も含めて積極的に促進をはかりたいと考えております。具体的には、関東地区の六篠会の皆さんが、これを機会に「関東支部（仮称）」を結成すべく目下努力を続けていただいております。少くとも、来年4月には発足の運びになるものと期待しております。支部活動の推進によって会員相互の親睦・情報交換の機会をさらに広げていきたいと思います。

六篠会会報についても、これまで以上に発行回数を増やし、神戸大学農学部関係をはじめ各支部、会員相互の情報交換が促進されるように努めたいと思っております。

●農学部・農場の活動援助とキャンパス美化活動援助
これまで続けられてきた神戸大学農学部や農場、農学系大学院への活動援助は、従来通り続行することになっておりますが、その実施細則を決めて将来に備えるべく現在役員会で検討を始めております。とくに、農学部六甲台キャンパスは、既に会員からのご指摘もあり、私達のシンボルとして環境美化の問題に直面しております。六篠会では、平成8年度予算でそのための特別援助を行いました。今後、も予算の許す範囲内で実行出来ればと考えております。

●農学部創立50周年記念事業
来るべき平成11年は、神戸大学農学部の創立50周年に当たります。創立当時のこと、篠山学舎のこと、学園紛争のことなどを思い出しますと、今や半世紀が過ぎて、農学部は素晴らしい発展の歴史を歩み、隔世の感があります。会員各位にも同様の感懐をお持ちの方が多くと思います。目下、農学部には創立50周年記念事業検討委員会が設置され、その記念事業（記念式典や記念パーティの開催、50周年記念史の発行等）の内容が検討されております。六篠会としても全面的に協力して行きたいと考えております。従って、その内容が具体化されれば、六篠会会報等を通じて皆さんにお知らせし、奮ってこの記念事業にご参加いただくとお願いいたします。

神戸大学学友会と神戸大学クラブ(KUC)について

ご存知のように、神戸大学の各同窓会が構成する「神戸大学学友会」は、新野幸次郎元学長を会長に活動を続けております。六篠会からは西川前会長と新家が委員として出ております。現在、神戸大学創立百周年に向けて学友会基金の積み立てを進行中であり、六篠会も毎年10万円を醸出してあります。

また、会員の皆様にはお馴染みのKUC（神戸ハーバランド、オーガスタビル17階）をご利用になっていくことと

思います。その運営委員会には六篠会から能宗委員と石賀委員が出て活躍中です。一般的な会合はもとより、神戸の夜景を楽しみながら会員相互の情報交換・食事に理想的な場所と思われれます。さらに、KUC会員には講演会や種々の催し物の案内が送付されることになっております。KUC活動をさらに活発化するために六篠会会員のご入会をお願いする次第です。

終わりに、会員各位の益々のご健勝とご発展を心から祈りつつ、一層のご指導とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。六篠会会長就任のご挨拶と致します。



神戸大学農学部はいま

農学部長 加藤 征史郎

六條会会員の皆様、お元気で益々活躍のこととお慶び申し上げます。また、農学部の教育研究環境の改善、整備や学部主催のイベント、学部運営にいたるまで、種々ご支援を賜っておりますこと、あらためて御礼申し上げます。

さて、私が学部長職を仰せつかってから一年四カ月になるうとしていきます。あつという間ですが、この間にもいろいろなことがありました。その一つは、大学院自然科学研

究科の第二次改組です。この改組計画は、ご承知のとおり岩崎前学部長の頃に着手されたものでしたが、すつたもんだのあげく、全体構想がほぼ認められ、その第一分次として今年度に情報メディア科学、分子集合科学および地球環境科学の三専攻がめでたく設置されました。予定では、平成十年度に構造科学と資源エネルギー科学の二専攻が、また十一年度にはシステム機能科学と生命科学の二専攻が



設置されることになっていきます。既設の専攻を廃止しながら新専攻を設置しますので、完成時の専攻数は七と変わりますが、教育研究内容、参加教員数や構成はかなりかわることになります。ただし、予定では申しましたように、今の国家財政の大赤字とそれに伴う緊縮財政のために、第二分次分と第三分次分は絵に描いた餅になりかねません。おまけに第二、第三分次に農学部教官のほとんどが参加することになっているのです。まったくヒヤヒヤものです。

二つ目は、農学部の平成十年年度概算要求のことです。教官員要求を含むものとして前年度からの第三次編入学の制度化と神戸大学食料システム教育研究センターの新設のほかに、学部の部分改組(応用生命科学の新設)を要求しました。本部事務局のその後の話によれば、時節柄いずれも真つ暗という事です。学部をあれこれいじくりまわすと、必ず多くの先生方、事務職員の方々に時間と労力を浪費させてしまいます。申し訳のないことですが、学部の新たな展開には、無駄に見えるこのような作業の積み重ねがどうしても必要だと思っております。

三つ目は、神戸大学全体にかかわることですが、国立大学の民営化と大学教員の任期制の問題が突如浮かび上がってきたことです。国立大学の民営化は行財政改革とのからみで出てきたのですが、国立大学協会や文部省も国立大学が果たす重要な役割を強調し、強く反対しています。そのうち簡単に実現するとは思えません。しかし、そのかわりにということ、今以上の定員削減や学部の統廃合など含む厳しい合理化を要求されるに違いありません。教員の任期制については、これも行財政改革と無縁のものとは思えないのですが、すでに法案が可決されました、神戸大学としてこれをどう取り扱うか、この秋頃には態度を明らかにしなければなりません。このことについて各部署で十分に議論しておくよう学長から命じられています。

以上のほかにも、教養部廃止と学部改組に伴って生じた歪みの是正、農学部からの情報発信の推進、さらには科学研究費等の採択件数の倍増や外部資金の導入拡大など、本気で取り組まなければならぬ課題が山積しています。軽いタッチで近況報告をと思つて書き始めたのですが、不景気な話ばかりとなってしまいました。申し訳ありません。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

私は昨年、ポーランドのヴロツワフで開催された第8回国際腐植物質会議(IHSS)に参加する機会を得ました。IHSSは土壌や海洋など地球上に広く存在する腐植物質の性質、構造や環境中での役割について討議することを主目的とした国際学会です。今回は30カ国から300名近くの研究者が参加し、随分盛況でした。この会議には6つの部門が持たれ、私はその内の「腐植物質の化学と構造」の部門のポスターセッションで発表しました。

私は国際学会には参加をしたことがありませんでした。今回が見るのも聴くのも発表するのも初めてでした。実は、私が学部の4年生のときに日本でIHSSと国際土壌学会が開催されたのですが、私は大学院入学試験を理由に参加しませんでした。今、考えと参加しておけば良かったと悔いるばかりです。さて、初めての国際学会、字の大きさや図の配置など気を配り、出発前日にできたポスターを手に、気合い十分、意気込んで参加しました。しかし、ポスターに書いた自分の英語が読み手に解るか、相手の質問の内容が理解できるか、また、その返答が伝わるか等不安も一杯でした。

学会初日は論文で名前を見たことのある人を見て感動したり、悪ガキにしか見えない人が口頭発表をしているのを見て驚いたりしながら学会の雰囲気を感じていました。発表はスライドを目で追えば、話していることが十分に聞き取れなくても理解できました。さすがに国内の学会のように質問はできませんでしたが、学会2日目ついに私のポスター発表の日です。ポスターセッションは16時から1時間ですが、朝1番から会場入りし所定の場所に貼り付けた。休憩時間や昼休みの度にポスターを見る人を確認に行きました。他人のポスターなんか殆ど見ませんでした。そして、定刻、自分のポスターの前に立ちました。最初の内は呼び込みでもしようかと思うほど、人が来ませんでした。10分を経過したくらいに私のポスターを見る人が数人来ました。1人が方法に関する質問をしてきました。うまく説明する単語が出てきません。悩み隠りつつ時間をかけて説明する内に、見ていた内の一人が余所に行つてしまいました。そ

学会のオープニングセレモニー(ポーランド、ヴロツワフ)



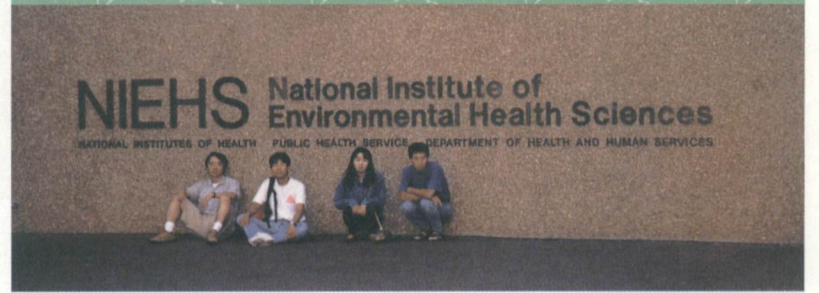
「初めての国際学会」

自然科学研究科 川東 正幸

んな時は客を逃がした気分です。そうこうする内にポスターを指さしたり筆談したりしながら、何とか1時間で7人くらいの人と議論をしました。興味を持ってもらい議論をできたことに自分の研究に手応えを得ました。また、同じ様なことを研究している人がいることで競争心も持ちました。今回の学会で私は外国の研究者と知り合うことができました。同時に、日本人の研究者とも知り合うことができました。国内の学会ではあまり話す機会の無かった先生方と親しくなれるのは国際学会に参加するメリットの一つだと思えます。変な話ですが、やはり外国だと同意識があるのでしようか日本人の研究者同士は親しくなるような気がします。このように国際学会では自分の研究の位置を知ることと同時に色々な人と研究上の会話をし、その幅を広げることが出来ます。しかしながら、国際学会は参加費が国内の学会に比べて数倍高く、且つ旅費がかかります。若い研究者の中には参加することの意義を認めていても二の足を踏むこともあるでしょう。今回、私の場合は六條会から学会参加の援助をして頂いたのに思い切つて参加することができました。国際学会デビューを費用面で心配せずに気軽に参加できたことをここに感謝します。若い研究者が国際舞台に参加することは本人にとつてもその学会にとつても意義深いことです。今後、私の後輩がこのような形で国際舞台に参加し活躍されることを期待しています。

森に包まれた研究所で

応用動物学科応用動物遺伝学講座 万年 英之



訪ねてくれた友人と研究所の前で

ましたので、すぐに九州に向かい何とかビザを取得することができました。この時何日かぶりに風呂にありつけ、ほっとしたことを良く覚えています。それからの一週間は瞬く間に過ぎ、気がつけば飛行機の中でした。

私の留学先はアメリカ、ノースカロライナ州の国立環境衛生研究所で、略してNIEHSです。空港に飛行機が降り立つとき、窓から景色を眺めていると、本当に一面森林に覆われていて、いったいどこに町があるのだろうかと思わせるような田舎の町でした。

実際のところアメリカにはこのような町はたくさんあります。アメリカの広大さを思い知らされます。

このあたりは田舎町ながら、UNCやデューク大学、また民間や国の研究機関があふれているところで、筑波を作る時のモデルになったところでも有名です。実際住んでみると思ったより日本人の方も多く、住んでそうそういろいろな情報を頂き、スムーズに生活の準備を終えることができました。また、自然にあふれた環境のいいところで、野鳥もいっぱいいます。こんなこともありました。野鳩が家の軒下に巣を作りにきましたが、狭い軒に巣を作ったため卵を産んだ後に巣が落ちてしまいい、卵は割れていました。

親は悲しそうにいました。可哀相に思い、土台を作ったやるとまた巣を作り始めました。彼らもこの場所を気に入ってくれた様子で、結局2回にわたって4羽のかわいい子鳩を孵して巣立っていきました。

研究所内では様々な国から

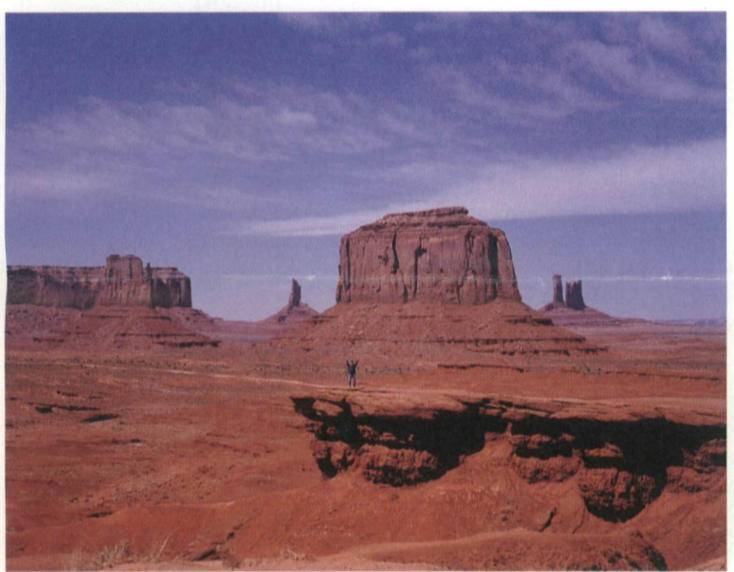
留学してきた人達であふれており、その活気は私にとって気持ちのいいものでした。また一番下の研究員に当たるポストドクは(私もそうでした)日本と違い、博士号取得直後の若い人からお父さんのような年齢の人まで様々です。このポストドクは数年契約で雇われていますので、その間に研究結果を出さないと次の契約更新や、新しいジョブを見つけないことが難しくなるのでみんな必死です。この人達の熱気が恐らくアメリカの研究を支えているのだろうと感じました。

アメリカでの研究生活は、日本の大学にあるような雑用がなく、自由な雰囲気の中にも活気にあふれ、研究ははかどりまりました。またポストは、いろんな場所を見て回るのも勉強になるだろうと結構休暇はすんなりと取らせてくれました。ただしその時に研究が進んでいければの話ですが、そうゆう

わけで普通は土日も休まず研究を続け、その代わり3ヶ月ごとに一週間の旅行に出かけることが出き、十数のアメリカの都市を回っているような体験をすることもできました。いろいろな経験を積み、一年半の留学を終えて1996年の8月に日本に帰国しました。

アメリカでの研究生活は、研究の細かい情報やテクニクはもちろんのこと、私にこれからの研究の方針にいい影響を与えてくれました。もちろん大学ではアメリカの一流の研究所には設備や環境では劣るかも知れません。しかし、研究はやはり研究者本人の熱意と努力が一番大切で、それさえあれば優れた研究はできるのではないかと思います。

最後にになりましたが、私は渡米のため震災後十分にお手伝いできませんでした。その場を借りてお詫び申し上げます。とともに、関係者の皆様方に深く感謝いたします。



モニュメントバレー国立公園で

神戸大学学友会と神大クラブについて

神戸大学の同窓会は、各学部の成立過程により、それぞれ独自の歴史と伝統を持ち、多くの卒業生の拠り所として積極的に活動しています。

ところで、戦後の学制改革で新制神戸大学が発足して以来、医学部、農学部の移管を始め幾多の変遷を経て今日に至っており、この間学窓を巣立った卒業生は、各学部とも全卒業生の過半数を超えています。

これら卒業生の多くは、在学中の教養課程やクラブ活動等を通じて学部を越えた交友関係を持ち、また、就職した企業・団体内でも共に神戸大学出身者として活躍しています。

このような状況を踏まえ、新制大学発足三十周年に当たる昭和五十四年の春、当時の須田勇学長の呼びかけで「神戸大学の全学部の卒業生が気軽に利用できるクラブを母校所在地の神戸に解説しよう」ということになり、検討が始められました。

また、各同窓会相互の交流を図り、母校の発展に寄与することを目的として、九学部(当時)七同窓会の連合体として「神戸大学学友会」が組織されました。この学友会で検討の結果、神戸新聞会館の八階に専用クラブとして「神大クラブ」(KUC)を昭和五十八年春に開設したわけです。

この神大クラブは、卒業生の幅広い交流の場として利用され、順調に推移してきました。



が、阪神・淡路大震災で神戸新聞会館が被災・解体され、休止のやむなきに至りました。その後関係者の努力の結果、昨年九月から神戸ハーバーランド内オーガスタプラザのウインドウズ オン ザ ハーバースカイで再開にこぎつけたことは、ご存じの方も多いかと思います。

一方、神戸大学学友会は、

新しい神大クラブ(KUC)は、神戸新聞会館当時のような専用クラブではありませんが、優先利用のできるフーズバーはカウンターもあり、落ち着いた雰囲気でできる場所があります。様々な会員特典も用意しています。

会員が増え、利用して頂く機会が多くなればなるほど利用者のご希望を反映しやすくなります。この機会に新会員の勧誘と積極的な

母校と同窓会のパイプ役として相互の情報交換を図るとともに、同窓会としての母校支援の窓口として機能すべく活動し、神大クラブ(KUC)は選出された運営委員会が中心となつて、会員の増強と会員の方々により親しんで頂くための企画等の検討を行っています。

ご利用をお願いいたします。新規会員には懇親会の特別ご招待を、またご紹介者には紹介人数に応じた特別ボーナスを用意しています。入会金10,000円 年会費5,000円 (1年次途中に入会の場合は、月額500円×未経過月数となります) 加入申込みは、KUC事務局で受け付けております。

平成8年度 庶務報告 1997.5.31

- ◆ 平成8年4月5日 入学式(記念品配布)
- ◆ 平成8年4月22日 学内常任幹事会 於 小会議室
- ◆ 平成8年度定期役員会に ついての打ち合わせ
- ◆ その他
- ◆ 平成8年4月26日 平成6年度定期役員会 於 KUC
- ◆ 平成7年度経過報告
- ◆ 平成7年度会計報告
- ◆ 平成8年度役員選出
- ◆ 平成8年度事業計画
- ◆ 会則および代議員制度に ついて
- ◆ その他
- ◆ 平成8年6月18日 六條会入会金納入の催促
- ◆ 平成8年6月21日 海外渡航援助金申請書
- ◆ 平成8年6月27日 学内常任幹事会 於 小会議室
- ◆ 海外渡航援助の選考
- ◆ 代議員制度について
- ◆ シンポジウム等援助に ついて
- ◆ 会報について
- ◆ 平成8年10月5日 学内常任幹事会 於 小会議室
- ◆ 代議員制度について
- ◆ 平成8年10月9日 臨時役員総会
- ◆ 於 滝川記念学術交流会館
- ◆ 代議員制度について
- ◆ その他
- ◆ 平成8年10月26日 臨時総会 於 C101

- ◆ 会則の変更について
- ◆ 代議員制度への移行に 伴う議事
- ◆ その他
- ◆ 懇親会
- ◆ 平成8年12月6日 於 滝川記念学術交流会館 学内常任幹事会 於 小会議室
- ◆ 役員候補者選考委員会の 委員の選出について
- ◆ 退官教官の記念品授与に ついて
- ◆ 入学式(記念品配布)の 準備
- ◆ 平成9年3月13日 役員候補者選考委員会 於 愛蓮
- ◆ 役員候補者の選考に ついて

平成9年度 六條会代議員総会 開催報告

平成8年度、10月26日に開催された臨時総会での会則変更は本会のより機能的かつ総会的な運営をめざすことになりました。新会則に基づき平成9年5月31日に六條会最初の代議員総会が開催されました。活動報告、会計報告、決算その他の審議項目が検討され決定されました。また、本総会で六條会の機能的な運営のために事務体制を強化してゆくことが合意されました。また、新役員が承認され新規新たに本会の活動が開始しました。現在、六條会は本総会の理念に沿う方向で役員会、(常任)幹事会を定期的に開き運営を行っております。

一般事業

- 会員増強(入会案内等)
- 名簿発行
- 会報発行
- 学友会・KUC参加援助
- 農学部・農場活動援助
- 六甲祭援助
- 20kmマラソン援助
- 学生図書購入援助
- 退官教授記念品贈呈
- 卒業証書簡贈呈
- 卒業祝賀会援助
- SAFEA21シンポジウム援助
- 共同開発センター10周年記念事業援助

慶弔 関連

- 海外渡航援助
- 学術講演会援助

学術交流援助関連

- SAFEA21シンポジウム
- 共同開発センター10周年
- 記念事業援助

事務アルバイトの雇用と連絡用のファックスの設置

本年度第1回の定期役員会で六條会非常勤事務職員に泉山 学さん(26歳、女性)を週6時間、時給800円(交通費別、バス代400円)の条件で採用することが承認されました。また、事務スペース確保を要望し六條会用のFAX、コンピューター設置が承認され、今後名簿の六條会管理などの効率的な管理が促進されるものと考えられます。

六條会へのファックスによる連絡

会員の皆様からの本会への連絡は主として次のファックス番号にてお願いいたします。

FAX 078-881-2752

平成9年度六條会役員名簿

会 長	新家 龍	C5
副 会 長	北浦 義久	A6
	和久 克明	A10
	酒井 修	A9
	王子 善清	C12
幹 事	内藤 親彦	A13
渉 外	南森 隆司	神C6
庶 務	森 直樹	神P16
会 計	森 直樹	神P16
会 報	万年 英之	神Z20

会 報	中村 直彦	神Z1
会 報	吉倉 惇一郎	C16
名 簿	金地 通生	神A14
名 簿	武 正興	神C8
名 簿	菅原 通直	神C4
KUC	能宗 康夫	C2
KUC	石賀 暢一	神C1
学友会	西川 欣一	A1
監 事	小山 美幸	A10
	土田 広信	C9



平成9年度六條会代議員名簿

代 議 員	鍋山 郁夫	A4
	永吉 照人	A13
	糟野 高一	神A5
	吉田 健一	神A9
	布施 暢俊	神A10
	中田 昌伸	C10
	塩田 悠賀里	P17
	矢代 学	神P10
	谷河 賞彦	神P21
	丸橋 康弘	神P23
	石田 陽博	A2
	山本 博昭	A12

代 議 員	松井 巧	T16
	山木 康雄	神T4
	别当 讓	神T20
	新藤 光宏	C12
	渋谷 一郎	神C8
	矢口 啓二	神C23
	杉本 金吾	Z5
	氷上 雄三	Z6
	杉原 一三	Z9
	西尾 司	神Z16
	小田 卓生	神Z17
鶴 陵 会	切貫 武代司	K1

鶴 陵 会	津田 安啓	K5・C8
県 六 條 会	森 俊人	A4
KOBE六條会	中谷 吉実	A4
延 喜 会	久下 平	C1

定 年 退 職

藤井 聡教授と西川 勲教授の両先生方が平成9月31日をもって定年退職されました。先生方には定年される直前までご指導、ご鞭撻をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げますとともに、先生方の幸多きこれからの生活をお祈り申し上げます。

六條会(兵庫農科大学・神戸大学農学部同窓会)会則

1. 総 則

(名 称)

第1条 本会は、神戸大学農学部六條会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、会員相互の連絡を密にし、親睦を図るとともに、神戸大学における農学分野の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、会報及び名簿の発行、農学分野の教育、研究活動に対する援助、その他必要な事業を行う。

2. 組 織

(会 員)

第4条 本会は、次の各号に掲げる会員をもって組織する。

(1) 正会員

ア 旧兵庫農科大学を卒業した者

イ 旧兵庫県立農業短期大学を卒業した者

ウ 神戸大学農学部を卒業した者

エ 旧神戸大学大学院農学研究科を修了した者

オ 神戸大学大学院自然科学研究科(農学系)を修了した者

(2) 特別会員

ア 旧兵庫農科大学に勤務した者

イ 旧兵庫県立農業短期大学に勤務した者

ウ 神戸大学農学部に勤務した者及び勤務する者

エ 神戸大学大学院自然科学研究科(農学系)に勤務した者及び勤務する者

(3) 準会員

ア 神戸大学農学部に在学する者

イ 神戸大学大学院自然科学研究科(農学系)に在学する者

(4) 名誉会員

本会に功績があり、役員会の推薦を受けて、代議員総会の承認を得た者

(5) 賛助会員

本会の主旨に賛同し、本会へ入会を申し出た個人又は団体で、代議員総会の承認を得た個人又は団体

3. 役員及び代議員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、幹事若干名、監事2名

2 役員は、正会員の中から代議員総会において選出する。

3 会長、副会長及び幹事は、監事を除く役員の内選により選出する。

(職 務)

第6条 役員は、役員会を構成し、会務を審議し執行する。

2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した順位により、その職務を代行する。

4 幹事は、会長の命により会務を処理する。

5 監事は、本会の会計を監査する。

(代議員)

第7条 本会に代議員を置く。

2 代議員は、正会員の中から各学科、鶴陵会及び各支部から若干名を総会において選出する。

(任 期)

第8条 役員の内任期は2年、代議員の内任期は4年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠又は増員により就任した役員及び代議員の内任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 役員及び代議員は、辞任したとき、又は任期が満了したときは、後任者が就任するまで引き続きその職務を行わなければならない。

(解 任)

第9条 役員及び代議員にふさわしくない行為があったときは、代議員総会において、監事を除く出席者の4分の3以上の同意により解任することができる。

(職 員)

第10条 本会の会務を処理するため、必要な職員を置くことができる。

2 職員は、会長が任免し、有給とすることができる。

4. 役員会及び代議員総会

(役員会)

第11条 役員会は、役員をもって構成する。

(役員会の招集)

第12条 役員会は、会長が招集する。

2 幹事の過半数又は監事から会議の目的たる事項を示して請求があったときは、会長は、速やかに役員会を招集しなければならない。

3 役員会を招集するときは、会議の目的たる事項、その内容、日時及び場所を示して、あらかじめ文書をもって通知しなければならない。

(役員会の議長)

第13条 役員会の議長は、会長がこれに当たる。

(役員会の定足数)

第14条 役員会は、役員(監事を除く)の過半数の出席がなければ、開会することができない。

(役員会の議事)

第15条 役員会の議事は、出席した役員(監事を除く)の過半数の同意をもって決し可否同数のときは、議長の決すところによる。

(代議員総会)

第16条 代議員総会は、役員及び代議員をもって構成し、次に掲げる事項を議決する。ただし監事は議決に参加しないものとする。

(1) 役員の内選に関する事項

(2) 事業計画の決定

(3) 事業報告の承認

(4) 入会金、会費、寄附金品、その他収入に関する事項

(5) 名誉会員及び賛助会員の承認

(6) その他本会の運営に関する重要な事項

(代議員総会の招集)

第17条 定期代議員総会は、毎年4月に会長が招集する。

2 会長が必要と認めるとき、又は代議員の5名以上から要求があったとき、若しくは正会員の50名以上から要求があったときは、会長は、速やかに代議員総会を招集しなければならない。

3 代議員総会を招集するときは、会議の目的たる事項、その内容、日時及び場所を示して、あらかじめ文書をもって通知しなければならない。

(代議員総会の議長)

第18条 代議員総会の議長は、出席した代議員の中から選出する。

(代議員総会の定足数)

第19条 代議員総会は、役員(監事を除く)及び代議員の過半数(委任状を含む)の出席がなければ、開会することができない。

(代議員総会の議決)

第20条 代議員総会の議事は、出席した役員(監事を除く)及び代議員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。

5. 総 会

(総 会)

第21条 総会は、次に掲げる事項を議決する。

(1) 代議員の内選に関する事項

(2) 会則の改廃に関する事項

(3) 代議員総会において、総会の議決が必要であると認められた事項

(総会の招集)

第22条 会長が必要と認めるとき、又は代議員総会で必要と認められたときは、会長は、速やかに総会を招集しなければならない。

2 総会を招集するときは、会議の目的たる事項、その内容、日時及び場所を示して、あらかじめ文書をもって通知しなければならない。

(総会の議長)

第23条 総会の議長は、出席した正会員の中から選出する。

(総会の議決)

第24条 総会の議決は、出席した正会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。

6. 資産及び会計

(経 費)

第25条 本会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 入会金及び会費

(2) 寄附金品

(3) 資産から生ずる収入

(4) 事業に伴う収入

(5) その他の収入

(資産の管理)

第26条 資産は、役員会の議決によって定める方法により、会長がこれを管理する。

2 資産のうち、現金は、郵便官署又は確実な金融機関に預け入れ、保管しなければならない。

(経費の支弁)

第27条 本会の経費は、運用財産をもって支弁する。

(会計年度)

第28条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(決 算)

第29条 本会の収支決算は、年度終了後速やかに、監事の監査を経て、代議員総会の承認をえなければならない。

7. 雑 則

(事務局)

第30条 本会の事務局は、当分の間、神戸大学農学部内に置く。

(委 任)

第31条 本会則の施行について必要な事項は、役員会(監事を除く)の議決を経て、会長が定める。

8. 附 則

本会則は、昭和50年11月23日から施行する。

附 則

1 本会則は、平成8年10月26日から施行する。

2 本会則の施行の際現に在任する役員の内任期は、なお従前の例による。

3 本会則の施行後最初に任命される代議員の内任期は、第8条第1項の規定にかかわらず、平成13年3月31日までとする。

六篠会平成8年度一般会計決算報告書

収支対照表

前年度繰越金	1,936,065	本年度支出金	6,855,307
本年度入金	7,384,248	次年度繰越金	528,941
合 計	7,384,248	合 計	7,384,248

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	1,936,065	1,936,065
入 会 金	5,100,000	5,340,000
貯 金 利 子	30,000	83,733
雑 収 入	3,000	24,450
合 計	7,069,065	7,384,248

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額
農学部・農場活動援助費	1,250,000	1,248,640
一 般 事 業 費	1,650,000	1,752,908
一 般 事 務 費	1,200,000	1,069,831
会 議 費	200,000	265,909
旅 費	50,000	70,500
慶 弔 費	300,000	230,000
神 大 学 友 会 経 費	100,000	37,000
学術振興基金への繰り入れ	800,000	800,000
代議員制度総会費用	500,000	699,027
予 備 費	1,019,065	681,492
合 計	7,069,065	6,855,307

六篠会平成8年度学術振興基金決算報告書

収支対照表

前年度繰越金	35,967,859	本年度支出金	1,010,000
本年度入金	927,157	次年度繰越金	35,885,016
合 計	36,895,016	合 計	36,895,016

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	35,967,859	35,967,859
一般会計からの繰り入れ	800,000	800,000
預 金 利 子	500,000	127,157
合 計	37,267,859	36,895,016

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額
学 術 交 流 援 助 費	450,000	450,000
学 術 活 動 援 助 費	500,000	560,000
予 備 費	500,000	0
保 留 金	35,817,859	0
合 計	37,267,859	1,010,000

六篠会平成9年度一般会計予算(案)

収入の部

項 目	予 算 額	備 考
前年度繰越金	528,941	名簿の売り上げは含まず。
入 会 金	5,100,000	
預 金 利 子	4,000	
雑 収 入	3,000	
学術振興基金からの繰り入れ	3,000,000	
合 計	8,635,941	

支出の部

項 目	予 算 額	備 考
農学部・農場活動援助費	550,000	会報発行費 100万円 各種活動援助費 40万円 (共同開発センター援助費 20万円を含む) 学生図書購入費 20万円 卒業祝賀会援助費 20万円 名簿800冊買い取り分約200 万円を含む。 名簿掲載広告費・最大リスク 分180万円を含む。
一 般 事 業 費	1,800,000	
一 般 事 務 費	3,200,000	
会 議 費	300,000	
旅 費	100,000	
慶 弔 費	300,000	
神 大 学 友 会 費	100,000	
予 備 費	2,285,941	
合 計	8,635,941	

六篠会平成8年度学術振興事業予算(案)

収入の部

項 目	予 算 額	備 考
前年度繰越金	35,885,016	
預 金 利 子	120,000	
合 計	36,005,016	

支出の部

項 目	予 算 額	備 考
学 術 振 興 事 業		学術講演援助費2万円× 20件、 農学部主催国際シンポジ ウム援助費20万円
学術交流援助費	450,000	
学術活動援助費	600,000	
一般事業への繰り入れ	3,000,000	
予 備 費	505,016	
基 金 増 成	31,500,000	
合 計	36,005,016	

ここ数年の六篠会の大きな変革としては、この会報に取り上げられていますように代議員制の移行です。この改革の根本となるものとしては、今後できるだけ同窓生のつながりを深め、開かれた六篠会を作っていくことが目的となつていきます。皆様のご協力とご理解をお願いいたします。これにともない会報もカラーとし、一新することになりました。何分初めての試みばかりですので、至らない点も数多くあるかと思えます。新しく設置されました六篠会事務局を通して、多くのご意見を頂ければ会報担当としてこれほど嬉しいことはありません。今後お気付きの点がありましたら、積極的にご寄稿くださるよう、お待ち申し上げます。

六篠会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。一年がたつのはこんなにも早いものかと驚いています。本年も六篠会報をお届けする時期となりました。阪神大震災から早くも二年半以上経ち、復興の言葉も日々耳にすることが少なくなってきました。しかしながら、ハード面ではともかく人々の生活においてはまだまだ少なからず影を落としているように思えます。本来ならもう少し地震関係の記事を取り入れるべきですが、紙面の都合上できませんでした。神戸大学自然科学図書館に震災文庫が新しく設置されましたので、利用していただければ幸いです。

編集後記



六篠会からのお知らせ

六篠会名簿 11月 いよいよ発刊!!

前回と大きく変わります

予約限定販売です

● 正確で細かな調査による 高品質な名簿です!!

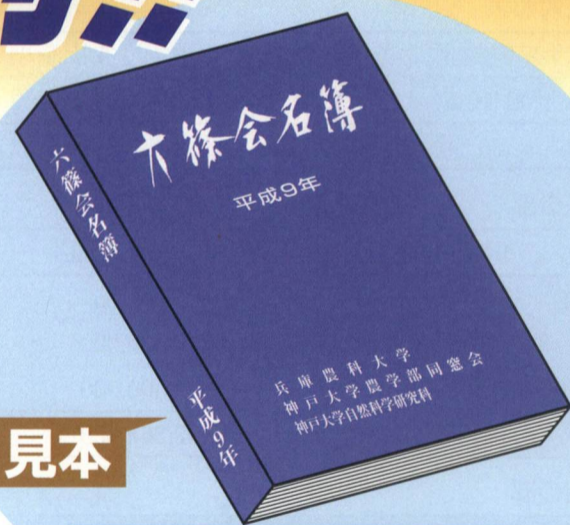
郵送2回、さらに電話による3回の追跡調査により、
高い判明率と最新のデータを満載。

さらに便利

- 郵便番号は7桁(平成10年2月施行)で掲載
- FAX番号を追加(返信のあった方のみ)
- 現姓・旧姓どちらでも探せてダイレクトにページをひける人名索引
- 発刊後のデータは管理専用ソフトにて会内でデータ管理するため、あらゆるご要望に迅速に対応させていただきます。(研究室ごとのリスト、ラベル、データ訂正など)

- 同封の振込用紙で今すぐお申し込み下さい。
- 広告の掲載にご協力下さい!!

《くわしくは同送の案内をお読み下さい》



見本

一冊 **3,000円** (送料含む)

名簿に関するお問い合わせ **06-855-9241** (株)関西廣濟堂・六篠会名簿係